

2020年12月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2020年5月11日

上場会社名 テックポイント・インク (Techpoint, Inc.) 上場取引所 東証マザーズ (外国株)  
 コード番号 6697 URL www.techpoint.co.jp  
 代表者名 (役職名) 最高経営責任者兼取締役社長 (氏名) 小里 文宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 株式会社テックポイントジャパン 代表取締役社長 (氏名) 蓬田 宏樹 (TEL: 03-6205-8405)  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月11日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料の作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(単位: 千米ドル(千円)、%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益		株式報酬費用控除前の 四半期純利益 (Non-GAAP 指標) (注3)	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
2020年12月期 第1四半期	7,511 (817,422)	49.6%	33 (3,591)	-	118 (12,842)	-	93 (10,121)	-	399 (43,423)	-
2019年12月期 第1四半期	5,021 (546,435)	△28.8%	△710 (△77,269)	-	△723 (△78,684)	-	△618 (△67,257)	-	△317 (△34,499)	-

(注1) 当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。本書において円で表示している金額は、便宜上、2020年3月31日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値に基づき1米ドル108.83円で換算された金額であります。本開示資料において以下同じ。

(注2) 四半期包括利益(損失)は2020年12月期第1四半期一千米ドル(一千円)(-)、2019年12月期第1四半期△618千米ドル(△67,257千円)(-)。

(注3) 2020年12月期第1四半期の3か月間の株式報酬費用は390千米ドル(42,444千円)でした。これを除いた調整後営業利益は423千米ドル(46,035千円)、2020年3月31日現在における2020年12月期通期の予想期間実効税率21.55%の税効果考慮後の調整後四半期純利益は399千米ドル(43,423千円)となります(Non-GAAP指標)。なお2019年12月期第1四半期においては、3か月間の株式報酬費用は336千米ドル(36,567千円)であり、これを除いた調整後営業損失は374千米ドル(40,702千円)、期間実効税率10.44%の税効果考慮後の四半期純損失は317千米ドル(34,499千円)でした(Non-GAAP指標)。なお、2019年12月期第1四半期の数値は、2019年12月期通期の実効税率を元に再計算したものです。

(単位: 米ドル  
(円))

	基本的1株当たり 当社株主に帰属する四半期 純利益	希薄化後1株当たり当社株 主に 帰属する四半期純利益	基本的1株当たり当社株主 に帰属する株式報酬費用控 除前の四半期純利益 (Non- GAAP 指標)	希薄化後1株当たり当社 株主に帰属する株式報酬 費用控除前の四半期純利 益 (Non-GAAP 指標)
2020年12月期第1四半期	0.01 (1)	0.01 (1)	0.02 (2)	0.02 (2)
2019年12月期第1四半期	△0.04 (△4)	△0.04 (△4)	△0.02 (△2)	△0.02 (△2)

## (2) 連結財政状態

(単位：%表示を除き、千米ドル(千円))

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
2020年12月期第1四半期	37,624 (4,094,620)	32,845 (3,574,521)	32,845 (3,574,521)	87.3%
2019年12月期	38,546 (4,194,961)	32,380 (3,523,915)	32,380 (3,523,915)	84.0%

## 2. 配当の状況

(単位：米ドル(円))

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正：無

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

新型コロナウイルスの感染拡大が当社に与える影響を現時点において正確に把握することは困難であり、当社の業績予想を現時点で合理的に算定することは困難であることから、2020年2月14日に公表した2020年12月期の連結業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能になった時点で、速やかに公表いたします。

## ※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更
  - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	17,525,043株	2019年12月期	17,449,572株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	—株	2019年12月期	—株
③ 期中加重平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	17,498,533株	2019年12月期1Q	17,172,699株

※ 本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象ではありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本四半期決算短信に含まれる業績予想及びその他の将来予測に関する記述は、現在入手可能であり、かつ当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、さまざまな要因により著しく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

	頁
<b>1. 当四半期決算に関する定性的情報</b> .....	<b>2</b>
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
<b>2. サマリー情報（その他）に関する事項</b> .....	<b>4</b>
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更.....	4
<b>3. 四半期連結財務諸表及びその他の情報</b> .....	<b>5</b>
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

2020年3月31日(連結)に終了した3か月間(以下、「当第1四半期連結累計期間」と表記)及び2019年3月31日(連結)に終了した3か月間(以下、「前年同期」と表記)の比較

#### 売上高

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比較して2.5百万米ドル(271百万円)又は49.6%増加しました。これは、車載カメラシステム市場向け半導体製品の売上高が2.1百万米ドル(221百万円)増加したことによるもので、同製品の出荷数の194%の増加が製品構成の変化に伴う21%の平均販売価格の減少によって部分的に相殺されたことが主な要因です。さらに、監視カメラシステム市場向け半導体製品の売上高は、同製品の出荷数の16%の増加に伴い、0.5百万米ドル(50百万円)増加しました。

当社の半導体製品の価格は半導体市場内で同じ水準を維持してきております。当社平均販売価格の動きは製品構成の変化によるもので、これは当社の製品構成が様々な価格帯にわたっているからです。高い価格帯の製品の販売数が増加又は低い価格帯の製品の販売数が減少すると平均販売価格が増加し、高い価格帯の製品の販売数が減少又は低い価格帯の製品の販売数が増加すると平均販売価格が減少します。

#### 売上原価

当第1四半期連結累計期間の売上原価は、前年同期と比較して0.8百万米ドル(86百万円)又は30.5%増加し、売上総利益率は48%から55%へと増加しました。売上原価の増加は主に、半導体出荷数の59%の増加が、0.2百万米ドル(23百万円)の在庫評価減の減少によって部分的に相殺されたことによるものです。製品構成の変化と在庫評価減の減少は、売上総利益率にプラスの影響を及ぼしました。

#### 研究開発費

当第1四半期連結累計期間の研究開発費は、前年同期と比較して、0.8百万米ドル(83百万円)又は51.6%増加しました。これは主に、テープアウト費用の0.9百万米ドル(94百万円)の増加が、製品開発に係る設計費用の0.1百万米ドル(11百万円)の減少によって、部分的に相殺されたことによるものです。

#### 販売費及び一般管理費

当第1四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、前年同期と比較して、0.2百万米ドル(21百万円)又は11.8%増加しました。これは主に、事業拡大に伴う人員増による人件費の0.1百万米ドル(12百万円)の増加及び専門家費用0.1百万米ドル(8百万円)の増加によるものです。

#### その他の収益(費用)

当第1四半期連結累計期間のその他の収益は、0.1百万米ドル(9百万円)、前年同期のその他の費用は、13千米ドル(1百万円)でした。これは主に、金利収入、外国為替取引及び外国為替差益・差損の影響によるその他の収益の0.1百万米ドル(11百万円)の増加によるものです。

#### 法人税等

当第1四半期連結累計期間の法人税費用は25千米ドル(3百万円)、前年同期の法人税の戻入は0.1百万米ドル(11百万円)でした。これは主に、当第1四半期連結累計期間においては課税所得が発生した一方で、前年同期においては欠損金が発生したことによるものです。

#### 四半期純利益(損失)

前述の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの四半期純利益は0.1百万米ドル(10百万円)、前年同期の四半期純損失は0.6百万米ドル(67百万円)でした。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産

##### 流動資産

2020年3月31日現在の流動資産は26.9百万米ドル(2,930百万円)であり、2019年12月31日に対して1.0百万米ドル(105百万円)又は3.5%の減少となりました。これは主に、1.6百万米ドル(178百万円)の現金及び現金同等物の減少及び0.1百万米ドル(14百万円)の前払費用及びその他の流動資産の減少が、当社が保有する売却可能負債性証券の満期までの期間の経過に伴う0.5百万米ドル(54百万円)の短期投資の増加、及び手元又は製造過程における在庫数の増加が製品販売数を上回ったことによる0.4百万米ドル(40百万円)の当期棚卸資産の増加によって、部分的に相殺されたことによるものです。現金及び現金同等物の減少については、キ

キャッシュ・フローの分析をご参照下さい。

#### 非流動資産

2020年3月31日現在の非流動資産は総額10.7百万米ドル(1,164百万円)であり、2019年12月31日に対して47百万米ドル(5百万円)又は0.4%の増加となりました。これは主に、長期投資の増加に伴うその他の長期資産の0.2百万米ドル(19百万円)の増加が、使用権資産0.1百万米ドル(14百万円)の減少によって部分的に相殺されたものです。

#### 負債及び株主資本

##### 流動負債

2020年3月31日現在の流動負債は総額4.3百万米ドル(463百万円)であり、2019年12月31日に対して1.3百万米ドル(140百万円)又は23.2%の減少となりました。これは主に、入金と出荷の時期のずれによる顧客預り金の0.9百万米ドル(102百万円)の減少、及び費用の発生と支払い請求の時期のずれにより生じる未払費用の0.8百万米ドル(89百万円)の減少が、請求書の受け取りと支払いの時期のずれにより生じる買掛金の0.5百万米ドル(54百万円)の増加によって、部分的に相殺されたものです。

##### 非流動負債

2020年3月31日現在の非流動負債は総額0.5百万米ドル(58百万円)であり、2019年12月31日に対して0.1百万米ドル(11百万円)又は16.3%の減少となりました。これは主に、長期リース負債の減少によるものです。

##### 株主資本

2020年3月31日現在の株主資本は総額32.8百万米ドル(3,575百万円)であり、2019年12月31日に対して0.5百万米ドル(51百万円)又は1.4%の増加となりました。これは主に、株式報酬であるストック・ユニットやストック・オプションの権利確定及び行使による資本剰余金の0.5百万米ドル(51百万円)の増加によるものです。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

新型コロナウイルスの感染拡大が当社に与える影響を現時点において正確に把握することは困難であり、当社の業績予想を現時点で合理的に算定することは困難であることから、2020年2月14日に公表した2020年12月期の連結業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。但し、車載カメラシステム市場向け製品については、第4四半期において例年同様の季節性要因による需要の増加が見込まれるほか、車載機器メーカーによる新規の採用済案件を新型コロナウイルスのパンデミック前に多数確保していることから、車載カメラシステム市場向け製品の2020年12月期下半期(第3四半期及び第4四半期)の売上は増加すると予想しております。したがって、当社の2020年12月期下半期(第3四半期及び第4四半期)の売上高は、2020年2月14日時点での想定には達しないと見込まれるものの、2020年12月期上半期(第1四半期及び第2四半期)の売上高よりも増加するものと見込まれています。結果として2020年12月期の通期では純利益を維持できると予想しています。いずれにいたしましても、今後、業績予想の算定が可能になった時点で、速やかに公表いたします。

なお、第2四半期の売上高についても現時点で合理的に算定することは困難であるものの、現時点での状況を前提とすると、第2四半期の売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受けて減少し、7百万米ドル(762百万円)から7.2百万米ドル(784百万円)程度になる可能性が高いと見込んでおりますが、第2四半期におけるテーブルアウト費用は第1四半期と比較して大幅に減少することが予想されるため、第2四半期においても純利益を確保できる見込みです。第2四半期における売上高に関して、①監視カメラシステム市場向け製品及び②車載カメラシステム市場向け製品の売上につき、それぞれ以下のように予想しております。まず、①監視カメラシステム市場向け製品の売上高は、中国以外の国における需要の減少等により、2020年2月14日時点での想定よりも1百万米ドル(109百万円)強以上の減少が予想されます。次に、②車載カメラシステム市場向け製品のうちドライブレコーダーについては、車載機器メーカーによる新規の採用済案件を新型コロナウイルスのパンデミック前に多数確保しているものの、全世界的な需要の減少により、その第2四半期の売上は減少することが予想されます。一方、②車載カメラシステム市場向け製品のうちリアカメラやカーナビゲーションシステムの第2四半期における売上は増加すると見込んでおります。

**2. サマリー情報 (その他) に関する事項**

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更  
該当事項はありません。なお、当社は会計基準更新書第 2018-13 号「公正価値測定 (Topic820)」を 2020 年第 1 四半期から適用しており、当該会計基準更新書の適用により四半期連結累計期間の開示事項に重要な影響はありませんでした。

3. 四半期連結財務諸表及びその他の情報

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：株式数を除き、千米ドル、千円 未監査)

	2020年3月31日現在		2019年12月31日現在	
	千米ドル	千円	千米ドル	千円
<b>資産</b>				
流動資産：				
現金及び現金同等物	9,755	1,061,637	11,391	1,239,683
短期投資	9,972	1,085,253	9,475	1,031,164
売掛金	35	3,809	107	11,645
棚卸資産	6,416	698,253	6,048	658,204
前払費用及びその他の流動資産	749	81,513	875	95,226
流動資産合計	26,927	2,930,465	27,896	3,035,922
有形固定資産 (純額)	534	58,115	535	58,224
繰延税金資産	682	74,222	677	73,678
使用権資産	930	101,212	1,058	115,142
その他の資産	8,551	930,606	8,380	911,995
資産合計	37,624	4,094,620	38,546	4,194,961
<b>負債及び株主資本</b>				
流動負債：				
買掛金	2,027	220,598	1,535	167,053
未払費用	1,191	129,617	2,012	218,966
早期行使ストック・オプション関連債務	53	5,769	67	7,292
顧客預り金	434	47,232	1,371	149,206
リース負債	545	59,312	549	59,748
流動負債合計	4,250	462,528	5,534	602,265
その他の長期負債	529	57,571	632	68,781
負債合計	4,779	520,099	6,166	671,046
コミットメント及び偶発債務				
株主資本：				
普通株式、額面価格0.0001米ドル (0.01円)				
授権株式数、2020年3月31日及び2019年12月31日現在、それぞれ75,000,000株及び75,000,000株				
発行済株式数、2020年3月31日及び2019年12月31日現在、それぞれ17,525,043株及び17,449,572株				
	2	218	2	218
資本剰余金	21,393	2,328,200	20,928	2,277,594
その他の包括利益累計額	△108	△11,754	△15	△1,633
利益剰余金	11,558	1,257,857	11,465	1,247,736
株主資本合計	32,845	3,574,521	32,380	3,523,915
負債及び株主資本合計	37,624	4,094,620	38,546	4,194,961

テックポイント・インク (Techpoint, Inc.) (6697) 2020年12月期第1四半期決算短信

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：株式数及び1株当たり金額を除き、千米ドル、千円 未監査)

	3月31日に終了の3か月			
	2020年		2019年	
	千米ドル	千円	千米ドル	千円
売上高	7,511	817,422	5,021	546,435
売上原価	3,374	367,192	2,586	281,434
売上総利益	4,137	450,230	2,435	265,001
営業費用				
研究開発費	2,238	243,562	1,476	160,633
販売費及び一般管理費	1,866	203,077	1,669	181,637
営業費用合計	4,104	446,639	3,145	342,270
営業利益 (損失)	33	3,591	△710	△77,269
その他の収益 (費用)	85	9,251	△13	△1,415
税引前四半期純利益 (損失)	118	12,842	△723	△78,684
法人税等	25	2,721	△105	△11,427
四半期純利益 (損失)	93	10,121	△618	△67,257
1株当たり四半期純利益 (損失) (米ドル (円) )				
基本的	0.01	1	△0.04	△4
希薄化後	0.01	1	△0.04	△4
1株当たり四半期純利益 (損失) を計算する際の加重平均株式数				
基本的	17,498,533		17,172,699	
希薄化後	17,908,970		17,172,699	
包括利益 (損失) :				
四半期純利益 (損失)	93	10,121	△618	△67,257
その他の包括利益 (損失)				
売却可能負債性証券に係る未実現損失	△93	△10,121	—	—
四半期包括利益 (損失)	—	—	△618	△67,257

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。